



今回は、国際貢献活動の第三弾、教育支援ボランティア(その2)の報告です。

## ◇ 美濃加茂国際交流協会主催の学習支援“MIRAI”にボランティア参加

日 時: 平成28年11月4日(金) 18:30 ~ 20:30

場 所: 美濃加茂生涯学習センター

参加者: 2年生の希望者3名

目 的: 外国人児童・生徒を対象とした教育支援活動にボランティアとして参加し、国際理解・多文化共生について実践的に学ぶ。

協 力: NPO法人 美濃加茂国際交流協会 ボランティアのみなさん

## ◇ 外国人児童・生徒と多文化共生への取り組み

■ 9月30日のボランティア活動(「SGH情報第21号」で報告)に続き2年生の有志3名が、美濃加茂市の教育支援ボランティアに参加しました。前回は、小学校の教室で学ぶ子どもたちと接しましたが、今回は市民ボランティアによる夜間の教育支援への参加です。

■ 美濃加茂国際交流協会(MIEA)は、市民の国際交流や地域での多文化共生を目的として結成されたNPO法人です。MIEAでは、週2回、18:30~20:30の2時間、外国人児童・生徒対象の学習支援教室“MIRAI”を開いています。

■ 国籍はフィリピン、ブラジル、中国とさまざま。小学生から高校受験を控えた中学3年生までの子どもたちが、日本語や算数、数学、英語などに取り組んでいます。子どもたちに勉強を教えているのは、市民ボランティアの方々。今回は関高生3名がボランティアとして加わりました。

■ 初対面の子どもたちを前に、最初は緊張していた関高生も、すぐに打ち解け、計算問題や漢字の書き取りに、一緒になって取り組んでいました。

■ 外国人市民の多く住む美濃加茂市では、日本人と外国人が分け隔てなく、対等な美濃加茂市民として、誰もが安心して快適に生活できるよう、多文化共生推進プランが策定され、街づくりが進められています。前回は9名の生徒が市教委の初期適応指導教室や小学校の国際・日本語教室で、今回は3名の生徒がNPO法人の学習支援教室で、それぞれボランティアに参加しました。



関高生と子どもたちのようす(右写真)

## ◇ 参加した生徒の感想

- 今回の体験で、これまで関わりのなかった外国籍の生徒さんとふれあうことができ、本当に良かったです。僕のペアになった子は日本語も完璧に話せていたので、より深い交流ができたと思います（平家物語や奥の細道の暗唱も完璧！）。さらにネイティブの子と、少しだけでも英語で話せたことがとても嬉しかったです。今回の経験は、これから僕が生きていく上で必ず役に立つと思っているので、忘れないようにします。
- 私は将来教員になりたいと思っているので、今回の体験はとても身になるものでした。生徒さんも明るく接してくれて楽しかったです。「日本語難しい」と言いながらも、一生懸命日本語で話してくれたり、日本語が分からないとジェスチャーや簡単な英語で話してくれて、とても貴重な体験になりました。普段ではできない経験ができて良かったです。
- 今回体験して日本語を教えることの難しさ、英語で伝えるのことの難しさを学びました。私のペアの子はまだあまり日本語が話せない子だったので、英語で勉強を教えたり会話をするときが多かったのですが、その際なかなか伝わらなかったり相手の言っていることがわからないことが多くあり、まだまだ自分の英語の力がないんだと考えさせられました。しかし、自分の英語に答えてくれた時はとても嬉しかったです。英語ができたらもっとたくさんお話することができたのに…と思い、今回初めて英語の大切さがわかった気がします。今回、たくさんのお話を学ぶことが出来ました。伝えることの難しさ、話すことの大切さ…。普段では絶対感じるこのできない大切さがわかり、とてもいい体験になりました。

## ◇ 市民ボランティアの方のお話

- 学習支援教室“MIRAI”は、今年度から本格的にスタートし、まだまだ試行錯誤の段階にあります。教室に通う生徒数は、最初は1名から始まりましたが、徐々に増えつつあり、さらに活気のある学習教室としての体制づくりを模索しているところです。今回のような、高校生ボランティアの皆さんとの交流は、外国籍の子どもたちにとっても、とてもよい刺激となり、貴重で楽しいひと時になったろうと思います。今後も、高校生の皆さんはもちろん、大学生や幅広い年代の方々の参加を積極的に呼びかけていきます。
- 今回、来てくださった関高生3名の方々は、すぐに子どもたちと打ち解け、頑張って活動してくださいました。高校生の皆さんと子どもたちが、笑顔で話す姿が印象的でした。ありがとうございました。

**教室の中の様子。  
和やかな雰囲気の中、学習が進みます。**

